

シネマ 自由区オールナイト

番外篇 NO3

蔵原惟緒

監督特集



「何か面白いことないか」の一場面

狂熱の季節 10:40~11:55
硝子のジョニー 野獣のように見えて 12:00~1:48
何か面白いことないか 1:53~3:48
黒い太陽 3:53~5:29
執 炎 5:34~7:34

とき 12月13日(土)午後10時40分

シギ

大劇

主催

草薙社

蔵原惟緒 フィルモグラフィ 作成 日本映画とみる会 C.W. 協 演スゴ

「俺は待ってるぜ」 1957年日活 脚本 石原権太郎 出演 石原裕次郎 北原三枝 白里S 90分
「霧の中の男」 1958年日活 原作 脚本 石原権太郎 出演 藤山良二 左幸子 白里S 92分
「風速40米」 1958年日活 原作 脚本 松浦健郎 出演 石原裕次郎 北原三枝 C.W. 100分
「嵐の中を突きぬ」 1958年日活 脚本 小島直記 脚本 倉本武蔵 出演 藤山良二 白里W 97分
「第三の死角」 1959年日活 原作 脚本 池田一朗 出演 小林旭 岡田卓造 白里 92分
「爆薬に火をつけろ」 1959年日活 原作 脚本 石原権太郎 出演 川地民夫 筑紫あず子 白里W 76分
「海底から来た女」 1959年日活 脚本 島田信夫 出演 藤山良二 南田洋子 白里 92分
「地獄の曲り角」 1959年日活 原作 大江健三郎 脚本 石坂洋次郎 出演 小泉博 白里W 97分
「われらの時代」 1959年日活 原作 多岐川恭 脚本 川口松太郎 出演 金子信雄 西村晃 白里W 65分
「ある脅迫」 1960年日活 原作 河野徹生 脚本 山田信夫 出演 川地民夫 柳家金語楼 白里 75分
「狂熱の季節」 1960年日活 脚本 山田信夫 阿部圭一 出演 川地民夫 海辺美津子 白里 68分
「破れかぶれ」 1961年日活 原作 石坂洋次郎 出演 山田信夫 志永小百合 吉行和子 白里 75分
「この若さある限り」 1961年日活 脚本 山田信夫 出演 沢村国太郎 中村錦之助 白里 91分
「海の脱走船」 1961年日活 脚本 山田信夫 出演 沢村国太郎 中村錦之助 白里 91分
「嵐を突っ切るジェット機」 1961年日活 脚本 星川清司 出演 小林旭 藤山良二 白里 95分
「メキシコ脱走」 1962年日活 脚本 星川清司 出演 沢村国太郎 藤山良二 白里 93分
「銀座の恋の物語」 1962年日活 脚本 山田信夫 島田信夫 出演 石原裕次郎 浅丘ルリ子 C.W. 93分
「憎いあちくしょう」 1962年日活 脚本 山田信夫 出演 石原裕次郎 浅丘ルリ子 菅川いづみ C.W. 104分
「硝子のジョニー 野獣のように見えて」 1962年日活 脚本 山田信夫 出演 沢村国太郎 菅川いづみ 白里W 106分
「何か面白いことないか」 1963年日活 脚本 山田信夫 監督 神代隆一 出演 石原裕次郎 浅丘ルリ子 C.W. 115分
「黒い太陽」 1964年日活 原作 河野徹生 脚本 山田信夫 出演 川地民夫 十川ロラント 白里W 96分
「執 炎」 1964年日活 原作 島田信夫 脚本 山田信夫 出演 浅丘ルリ子 伊丹十三 白里 120分
「夜明けのうた」 1965年日活 脚本 山田信夫 出演 浅丘ルリ子 沢村国太郎 白里W 97分
「愛と死の記録」 1966年日活 脚本 大島秀一 小林秀男 出演 浅丘ルリ子 志永小百合 白里W 92分
「愛の湯き」 1967年日活 原作 三島由紀夫 脚本 藤田泰次 藤原信雄 出演 浅丘ルリ子 白里 98分
「栄光への5000キロ」 1969年 石原プロ・松竹映画 原作 菅原四郎 脚本 山田信夫 C 177分
「陽は光り陽は昇る」 1973年日活 原作 脚本 山田信夫 蔵原惟緒 音楽 ニーノ・ロータ C 141分
「雨のサムステルダム」 1975年 東京映画・池田企画作品 脚本 山田信夫 出演 藤原健一 岸恵子 C.S. 123分

本日は御来場ありがとうございました。来月のシネマ・自由区の上映は、以下の予定です。

オ17回オールナイト上映
現代女優列伝 PART 2 “愛すべきスベ公たち、5人!”

「二匹の狼」(渡辺祐介) 64年東映 小川章由 緑万子
「女子学生・恋の運び」(江崎実生) 70年日活 白根子
「でんきくらげ」(堀村保雄) 70年東映 湯浅マユ
「銀蝶渡り島」(山口和彦) 72年東映 梶芽衣子
「オオムくらげ」(内海誠) 73年東映 山内えりこ

とき 1月17日(土)午後10時40分

ところ シギ大劇 前売600円 当日800円

2月上映予定 赤木圭一郎 特集

川島雄三監督特集 2月14日(土)

シネマ・自由区オールナイト、番外篇 六本町!

現代女優列伝 PART 3 “若菜子の夢は夜ひらく”

「青春前期・青い果実」(堀池清) 65年日活
「縄張はもらった」(長谷部裕春) 68年日活
「残照おんは私利」(岡野昭二) 69年日活
「野良猫ロック・ワイルドジーンズ」(藤田和久) 70年
「反逆のメロディー」(沢村幸弘) 70年日活
「女囚701号・さそり」(伊藤雄之助) 72年東映

とき 1月24日(土)午後10時40分

ところ シギ大劇 前売700円 当日800円

主催 草薙社

狂熱の季節

一九六〇年 日活映画

企画 山本 武
原作 河野 典生
脚本 山田 信夫
監督 山田 信夫
撮影 蔵原 惟繕
美術 間宮 義雄
音楽 斎藤 秀雄
録音 古山 恒夫
編集 鈴木 誠一
配役 川地 民夫、郷 徹治、千代 信子、松本 典子、長門 裕之、島田 容子、清水 高代子、杉山 和子、山田 高芳、白人 A、モリス・グリエ、ウィリアム・バッケン、ベン・リッド、黒田 剛、重盛 輝江、清水 千代子、矢沢 謙雄、宮川 満夫、井上 久、松丘 昌之、川村 昌之、久木 登紀子、小園 蓉子、草薙 幸二郎、新井 麗子、隣のキャンサー

【解説】河野典生の「狂熱のデモンストレーション」を、「青年の樹」の山田信夫が脚色し、一ある脅迫一の蔵原惟繕が監督したもので、現代の若者たちを描く。撮影は「小さな巨獣」の間宮義雄。(日活スコープ)七五分



川地民夫と千代信子



「狂熱の季節」

野獣のように見えて

一九六二年 日活映画

企画 水の江滝子
脚本 山田 信夫
監督 蔵原 惟繕
撮影 間宮 義雄
美術 斎藤 秀雄
音楽 木村 威夫
録音 沼倉 年男
編集 鈴木 誠一
配役 戸川 幸夫、深沢 美津子、由 美、南田 洋子、おきく、武智 豊子、和子、松本 典子、よしえ、和田 悦子、千 香、桂木 洋子、みふねの母、田中 筆子、遺骨を持った男、王村 駿太郎、刑事 中台 祥浩

【解説】「憎いあんちくしょう」の山田信夫のオリジナル・シナリオを、「銀座の恋の物語」の蔵原惟繕が監督したアクションもの。撮影もコンビの間宮義雄。(日活スコープ・日活カラー)

(二〇八分)



「野獣のように見えて」



左からアイ・ジョーリ、戸川いづみ、戸川幸夫

何か面白いことないか

一九六三年 日活映画

企画 水の江滝子
脚本 山田 信夫
監督 蔵原 惟繕
撮影 間宮 義雄
美術 斎藤 秀雄
音楽 千葉 和彦
録音 藤林 甲
編集 鈴木 誠一
配役 早坂次郎、石原裕次郎、倉橋典子、浅丘ルリ子、小池 幸、武内 亨、吉岡健司、川地 民夫、岩本銀三、加藤 武、良子、深井 聰子、弓子、安田 千永子、踊子 A、真木 子、同 B、千代 信子、同 C、和子、悦子、編集 欣三、住田昇平、森川 信、千野郁太郎、宮坂 将嘉、松下政治郎、滝沢 修、雑誌社の記者 A、天野 新二、同 B、伊藤 孝雄、同 C、市村 博、整備士 A、近江 大介、同 B、近江 大介、パイロット A、峰 三平、ウエイトレス、星 ナオミ、山本 佑三、日本新聞社の記者、森塚 敏、ジャーナリスト、上野山功一

【解説】「憎いあんちくしょう」のトリオ、山田信夫が脚本を執筆、蔵原惟繕が監督した現代ドラマ。撮影は間宮義雄。(日活スコープ・日活カラー)



浅丘ルリ子と石原裕次郎



早田大三郎と浅丘ルリ子

黒い太陽

一九六四年 日活映画

企画 大塚 和
脚本 久保圭之介
原作 河野 典生
監督 山田 信夫
撮影 蔵原 惟繕
美術 金子 清司
音楽 斎藤 秀雄
録音 吉田 一夫
編集 鈴木 誠一
配役 川地 民夫、明 子、ユキ、千代 信子、技師 新田 昌玄、所有者 山田 信二、乾物屋のオウ、大滝 秀治、ニッポンのロー、高山 千草、中根 実

【解説】河野典生の原作を「駆け出し刑事」の山田信夫が脚色、「何か面白いことないか」の蔵原惟繕が監督した社会ドラマ。撮影は金宇満司。(日活スコープ)九六分

執炎

一九六四年 日活映画

企画 大塚 和
脚本 加茂 嘉子
原作 山田 信夫
監督 蔵原 惟繕
撮影 間宮 義雄
美術 斎藤 秀雄
音楽 松山 敏郎
録音 吉田 一夫
編集 鈴木 誠一
配役 久坂きよ子、浅丘ルリ子、妹 あやの、松尾 嘉代、父 信、細川 ちか子、母 伊丹 一三、吉井拓治、平田大三郎、弟 秀治、奈良岡朋子、母 野原幸子、戸川いづみ、夫 則義、上野山功一、父 河上 信夫、小島 重吉、老いた漁師 A、宇野 重吉、同 B、村田 寿男、同 C、千代田 弘、同 D、紀原 士耕、同 E、土田 義夫、馬車曳き、澄川 透

【解説】加茂嘉子の同名小説を「暗殺」の山田信夫が脚色「黒い太陽」の蔵原惟繕が監督した女性ドラマ。撮影は「女の渦と潮と流れ」の間宮義雄。(日活スコープ)

(120分)